

令和6年度 定例会 予算等審査 質疑（抜粋） 令和6年3月

1. 災害情報をタイムリーに届け 安全・安心の強化を！

【佐藤幸雄議員】「杜の都防災メール」などをスマートフォン等へ登録をすることで、災害情報等がタイムリーに通知される事業の拡充を今議会（令和6年2月定例会）で求めたことに対し、消防局長は、「防災情報等の発信は、迅速な避難行動にもつながる重要な取組みであり、今後においても、「杜の都防災メール」等の利活用が一層推進されるよう、様々な機会を捉えて周知啓発に努めてまいりたい」との答弁であった。

そこで伺いたいのは、情報を届ける**プッシュ型**の更なる取組みを具体的に伺う。

【消防局長】「杜の都防災メール」は、消防車の出場情報を基本に**気象情報や避難情報等の防災情報を加えてメール配信**するシステムである。

市民の方々が防災行動をとるきっかけとなる情報が必要と考えている。

今後においても、市民の方々が参加される各種講習会等での案内をはじめ、仙台市ではフェイスブックやInstagram等の広報ツールも運用しているので、そうしたSNSも活用しながら、「杜の都防災メール」の更なる登録促進が図られるよう、周知啓発に努めてまいりたい。



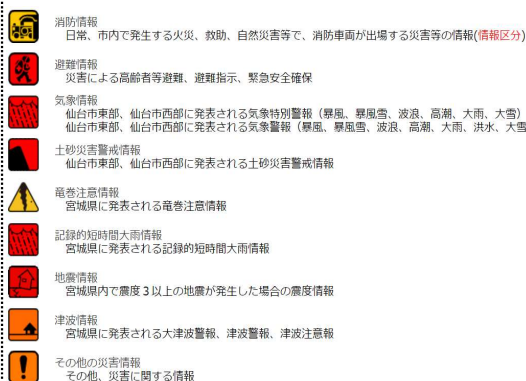
令和6年度 第1回定例会
予算等審査 質疑 令和6年3月5日

杜の都 防災メールについて
仙台市では、「杜の都防災メール」で火災などの災害発生情報、避難指示などの避難情報、注意報や警報などの気象情報などの災害に関する情報をメールでお知らせしており、災害時に様々な情報を収集することができます。
大震災のときは電話がなかなかつながらないこともありますが、**メールは比較的早くつながる**こともあり災害のときは有効に情報を得ることができる。

<杜の都 防災メール>



<杜の都 防災メールで配信される情報>



（仙台市公式ホームページより）

* 中面につづく

S A T O Y U K I O 佐藤 ゆきお

泉区 市議会通信 VOL.36

発行元／ 仙台市議会議員 佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1-56-15-1 TEL 022-272-4863
2024年7月発行 E-mail yukio@sendai-komei.jp

一人の声を
市政に
つなぎます



第2回定例会 委員長報告
（健康福祉委員会）6月25日

令和6年第2回定例会に提出された議案の件数は、条例案件が3件、その他案件が14件、人事案件が2件、諮問案件が1件、補正予算案が1件の合計21件 6月25日に議案全てが可決成立！

補正予算 合計 1,610億円

（令和6年度 第2回定例会補正予算案の概要の概要 より）

仙台市令和6年度補正予算概要 （令和6年4月～令和7年3月）

「本庁舎建替に要する経費」 **2億5,700万円**
及び債務負担行為の補正（351億円→386億9,800万円）
物価高騰等に伴う契約変更に対応するため、本庁舎建替工事に要する経費を追加するとともに、必要な債務負担行為を補正するもの

「里親支援センター措置委託費」 **4,400万円**
令和6年4月に認可した里親支援センターについて、県が広域利用するため に必要な経費を追加するもの

「新型コロナウイルスワクチン接種費」 **13億900万円**
接種費用単価の増加に対応するため、必要な経費を追加するもの

家庭ごみ・プラスチック資源指定ごみ袋を
ユニバーサルデザインにリニューアルします
（公明党仙台市議団にて推進しました）

（仙台市公式ホームページより）



障がいのある有無や使用言語、年齢などにかかわらず、多くの方にとって、使いやすい・分かりやすいデザインにしました。

<家庭ごみ指定袋の色の変更>
旧デザインの指定ごみ袋は、家庭ごみ（緑）、プラ資源（赤）のどちらも同じような色に見え、**判別が難しい方がいます**。判別しやすくするために、家庭ごみの指定袋の緑色を少し青味がかかった緑色に変更するとともに、色名・ごみ袋の種類・サイズを、袋の持ち手部分に明記。

<字体や文字サイズの変更>
文字のフォントには、小さくても読みやすい『UDフォント』を採用しました。外装袋では、ごみの種類を大きく印字し、色に頼らなくても家庭ごみとプラ資源が判別できます。

<外国語表記の追加・やさしい日本語の使用>
「家庭ごみ」、「プラ資源」の外国語表記（英語、中国語簡体字、韓国語、ベトナム語、ネパール語の5言語）を追加しました。

指定袋にプリントしているごみの出し方のポイントについて、「やさしい日本語」を使用し、外国人のほか、**小さなお子さんや高齢者、障がいのある方などにも分かりやすい表現**にしました。

* 旧デザインの指定袋も引き続き使用できます。

2. 国の法改正に準じて、早急に 災害弱者（災害時要援護者）の 避難計画策定を！

【佐藤幸雄議員】令和6年度の予算には、「**仙台市災害時要援護者・避難支援プランの更新を行う**」ことが盛り込まれた。今回盛り込まれた**更新**については、令和3年5月に国の法改正で示され、間もなく3年が経過するが令和4年度から同時並行的に**危険度の高い方、いわゆる災害弱者への個別避難計画**を進めることはできなかったのか。

東日本大震災から13年が経過した今、その経験と教訓の中には**災害弱者の尊い命**が犠牲となられた事実を私は重く受け止めている。

災害文化を標榜される仙台市として、今後の取り組みの決意を伺う。

【危機管理局長】仙台市はこれまで、東日本大震災の経験や教訓はもとより、新たな知見や他の災害からの教訓なども踏まえながら、市民の方々や事業者など様々な方々との連携の下、防災力向上に努めてきた。

個別避難計画は、災害時に支援が必要となる**高齢の方や障がいのある方が安全、円滑に避難をするために重要な仕組み**であり、その普及は急務であると認識している。

今後、関係の方々との連携を密にし、スピード感を持って進めてまいりたいと考えている。

個別避難計画とは、災害時に自ら避難することが難しく、特に支援を必要とする高齢者や障がいのある人などの避難行動要支援者ごとに作成する避難支援のための計画。個別避難計画には、避難先、避難経路、避難の支援をしてくれる方（親戚・知人等）を記入。個別避難計画は、本人や、本人の状況によっては、家族や地域において防災活動を行う自主防災組織が記入することもできる。

3. 適正な**住まいの価値**の評価 で仙台市のブランド力の向上を！

【佐藤幸雄議員】今回議論させていただいた国（国交省・環境省など）における建築基準法の改正・建築物 省エネルギー法の改正、そして**住宅金融モデル事業**は、適正な住まいの価値の向上評価に伴い、その資産価値が向上することについて確認した。

さらには、住宅資産等の価値が今後、適正に向上する好循環で最終的には本市の**税源涵養**にもつながる。

防災環境都市に資する住みよいまち・**仙台**のさらなる**ブランド化**へ万全の態勢で取り組むことを望むところである。今後の決意を伺う。

【高橋副市長】安全性、省エネ性などの性能が確保され、適正な維持管理、あるいはリフォーム等がなされた住宅が、良質な住宅ストックとして適正に評価されることは、健康で快適かつ安全な暮らしの実現だけではなく、**資産価値の向上や住宅市場の好循環**にもつながるものと考えている。

さらには、防災環境都市としてのカーボンニュートラルや資源循環型社会の実現にも寄与するものと考えている。引き続き、関係する部局がより一層の連携を図りながら、**内外から選ばれる都市**となるよう、取り組んでまいりたい。

税源涵養とは「安定した税財源を確保すること、作り出していくこと」である。

住宅金融モデル事業とは、国交省が地域特性を踏まえた住まいづくりの実現に向け、地域の課題解決に資する住宅金融の市場を整備・拡大するため、地域の課題に精通した金融機関による、住宅政策の推進に資する先進的な取り組みに対する支援を行う事業である。

日々の地域実績



整備後



泉中央4丁目付近

すいせん通り タイル歩道改修 安全対策



整備後



南光台2丁目付近

カーブミラー設置 三差路安全対策

日々の活動



仙台港区 コンテナターミナル共栄式
(仙台塩釜港) 3月23日



泉消防団 火災警戒広報
(南光台分団 機材置場) 4月9日



柏市役所 会派視察 AED利活用事業
(千葉県) 4月18日



南光台第一町内会・役員会
(南光台二丁目集会所) 4月21日



仙台市科学館 4階展示リニューアル内覧会
(仙台市青葉区) 4月25日



南光台園芸愛好会 盆栽・山野草展
(南光台コミュニティセンター) 5月4日



公明党泉総支部 憲法記念日 街頭演説会
(泉中央 セルバ前) 5月3日



令和6年度 仙台市水防訓練
(七北田川 岩切緑地) 5月23日



宮城県・仙台市障がい者スポーツ大会
(弘進ゴムアスリートパーク仙台) 6月2日